

# 武士の興り～鎌倉幕府

## (1) 武士の成長

- ① 武士の興り・・・地方政治が乱れると、有力な農民や豪族は、土地を守るため武装した。
- ② 武士団の成長・・・武士団はしだいに成長し、天皇の子孫である源氏と平氏は棟梁となった。
- ③ 武士の反乱

ア \_\_\_\_\_の乱・・・935年関東地方で反乱をおこし、新皇を名のった。

イ 藤原純友の乱・・・939年瀬戸内海で反乱をおこした。

ウ 前九年の役・後三年の役・・・東北地方でおこった2つの反乱を、源義家がしずめた。

## (2) 院 政

- ① 後三条天皇・・・天皇自ら政治を行い、藤原氏の勢力を抑えようとした。
- ② \_\_\_\_\_・・・1086年\_\_\_\_\_天皇は位を譲って、上皇として政治を行った。これによ  
って藤原氏の摂関政治は衰えた。
- ③ \_\_\_\_\_の乱・・・1156年上皇と天皇が対立し、天皇方についた平清盛・源義朝が勢力を  
伸ばした。
- ④ \_\_\_\_\_の乱・・・1159年源氏と平氏が対立し、平清盛が源義朝を倒した。
- ⑤ 平氏の政治・・・1167年\_\_\_\_\_は武士として初めて太政大臣となり、兵庫の港を改築  
し\_\_\_\_\_貿易を行い、銅錢を輸入し利益を上げた。また、一族で要職  
を独占した。しかし、貴族と同様な政治を行ったため、しだいに地方武士  
の支持を失っていった。

# 武士の興り～鎌倉幕府

## (3) 鎌倉幕府の成立

### ① 源氏の挙兵

平氏は一族で政権を独占し、他の勢力を圧迫したため、平氏に対する反感が高まつた。そこで、1180年木曽で源義仲が、伊豆で\_\_\_\_\_が挙兵した。



### ② 平氏の滅亡

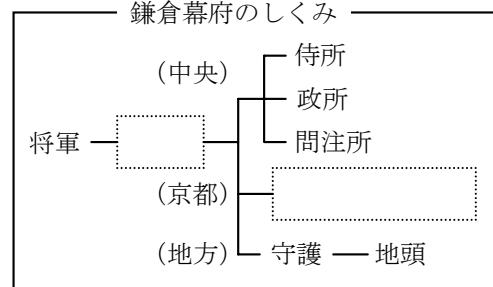
源義仲が京都から平氏を追い出したが、貴族と対立して孤立した。その後、兄の命令を受けた\_\_\_\_\_が義仲を討ち、さらに西国へ平氏を追つて、一の谷・屋島の戦いに勝ち、1185年\_\_\_\_\_で平氏を滅ぼした。

### ③ \_\_\_\_\_の設置

平氏の滅亡後、義経と対立した頼朝は、義経を捕らえることを口実に、国々に\_\_\_\_\_を、莊園や公領ごとに\_\_\_\_\_を設置することを朝廷に認めさせた。

### ④ 鎌倉幕府の成立

\_\_\_\_\_年源頼朝は\_\_\_\_\_に任命され、名実ともに武士による政権が成立した。幕府のしくみは、実際的で簡素なものであった。



### ⑤ 封建制度

将軍と主従関係を結んだ武士を\_\_\_\_\_といい、鎌倉幕府では将軍と御家人の関係は\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_の関係で結ばれていた。御恩とは、将軍が御家人の支配している土地(所領)を認め、手柄を立てた御家人に新しい土地を与えること。奉公とは御家人が将軍の指図に従い「一所懸命」戦いに励むことであった。

### ⑥ 朝廷と幕府

これまで同様、国々には朝廷から\_\_\_\_\_が任命され、莊園では貴族や寺社の力が強かつたので、全国は朝廷と幕府による二重支配であった。

# 武士の興り～鎌倉幕府

## (4) 執權政治

### ① 北条氏の政治

頼朝の死後、頼朝の妻の政子の父、\_\_\_\_\_はしだいに力を強め、\_\_\_\_\_という地位について幕府の実権を握った。一方、2代将軍頼家、3代将軍実朝はあいついで暗殺され、将軍の位は名ばかりになった。

### ② \_\_\_\_\_の乱(\_\_\_\_年)

源氏の將軍が3代で絶えると、朝廷は政権を取り戻そうとして、\_\_\_\_\_は執權北条義時を討つよう全国に命令を下した。しかし、東国の武士の多くは幕府側につき、幕府の大軍が京都に入って乱は終わった。乱の結果、幕府の支配力が強まつた。

- (1) \_\_\_\_\_上皇は隠岐に流された。
- (2) 京都に\_\_\_\_\_が設置され、朝廷の監視を行なうようになった。
- (3) 上皇側についた貴族や西国の武士の土地を取り上げ、新たに東国の御家人を地頭に任命した。

### ③ \_\_\_\_\_の制定

1232年\_\_\_\_\_は、頼朝以来の武士のしきたりをまとめて\_\_\_\_\_を制定した。これは武士が制定した初めての法律であり、後世に大きな影響を与えた。

## (5) 鎌倉時代の社会

- ① 武士の生活…武士は普段は領地である農村に住み、下人や農民を使って農業を営んでいた。また\_\_\_\_\_造と呼ばれる板葺きの質素な家に住み、武芸を磨いていた。



- ② 農村の変化…農民は地頭と莊園領主の二重支配に苦しんだが\_\_\_\_\_耕の利用、\_\_\_\_\_製の農具の普及、草木の灰の肥料などで生産は増加し、西国では米の裏作に麦を作る\_\_\_\_\_が増加した。

- ③ 商業の発達…寺社の門前や交通の要所には月3回の\_\_\_\_\_が開かれるようになり、宋から輸入した\_\_\_\_\_が使用された。

# 武士の興り～鎌倉幕府

## (6) 鎌倉文化

① 新しい仏教…戦乱が続く中で、人々は心のより所を求めるようになり、新しい仏教が広まった。

宗 派		開 祖	宗 派		開 祖
念 仏 宗	浄土宗		日蓮宗		
		親鸞	禪 宗	臨済宗	
	時宗	一遍		曹洞宗	

- ② 文学 (1) 軍記物…琵琶法師によって\_\_\_\_\_が語られた。  
(2) 隨筆…鴨長明が\_\_\_\_\_を著した。  
(3) 和歌集…後鳥羽上皇の命による\_\_\_\_\_和歌集。

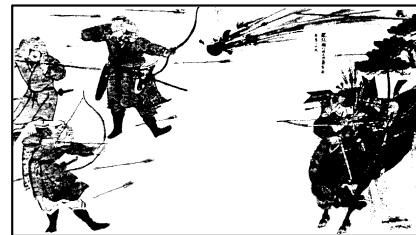


- ③ その他…建築では力強い東大寺南大門、円覚寺舍利殿、彫刻では運慶・快慶らの東大寺南大門の\_\_\_\_\_像、絵巻物では「蒙古襲来絵詞」がある。[右下の図]

## (7) 元寇と鎌倉幕府の衰え

### ① モンゴル帝国の形成

\_\_\_\_\_がモンゴルの遊牧民族を統一してモンゴル帝国を建国した。その孫である\_\_\_\_\_は都を大都(現在の北京)にうつし、国号を\_\_\_\_\_と改め、アジアの大半を支配する大帝国を築いた。



### ② 元寇

高麗も従えたフビライは日本に服属を求めてきたが執権\_\_\_\_\_はこれを拒否したため、元軍は高麗の軍とともに2度にわたって来攻した。(\_\_\_\_\_の役・\_\_\_\_\_の役)  
日本は元軍の集団戦法に苦戦したが、暴風雨によって元軍は退いた。

### ③ 鎌倉幕府の衰え

元寇で多大な出費をした御家人に対し、幕府は充分な恩賞を与えられず、御家人の生活は苦しくなった。幕府は御家人を救うため1297年\_\_\_\_\_令を出し、借金を帳消ししようとしたがかえって経済が混乱ただけであった。

- ④ 悪党の発生…畿内では、悪党と呼ばれる土着の武士が荘園を荒らすようになった。